

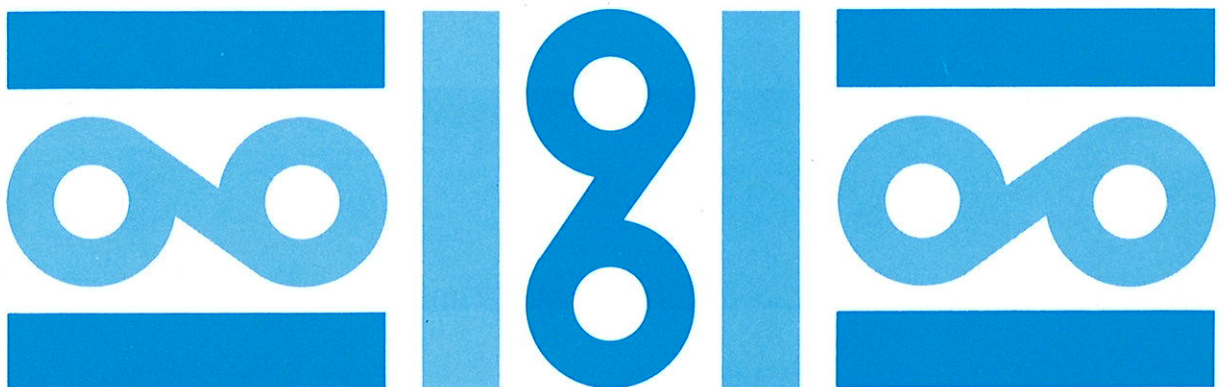
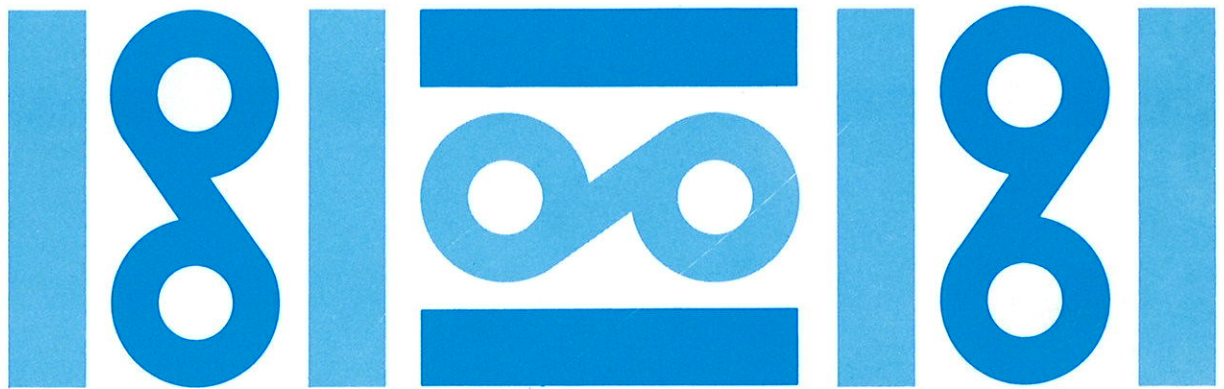
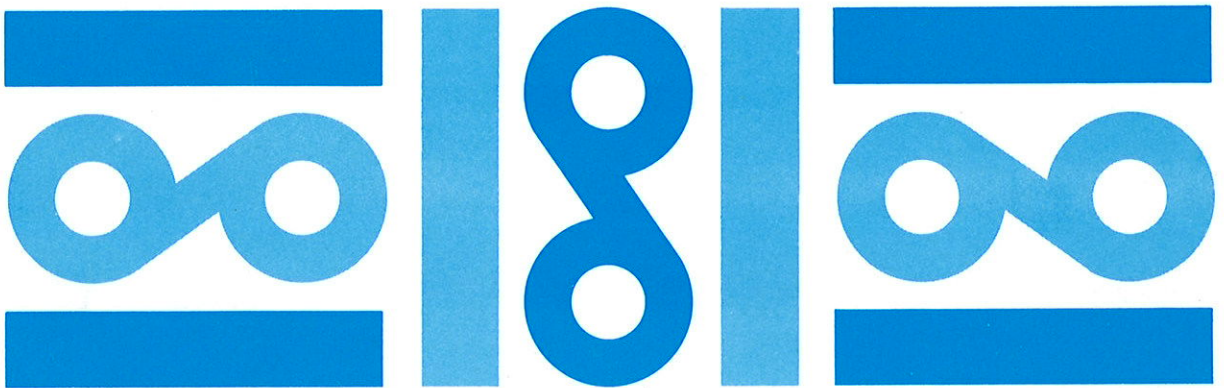
ベビーロック

巻きロックミシン

EF-405M型

ご使用のてびき

株式会社 **ジューキ**



お買い上げくださいますて ありがとうございます。

このEF-405M型(巻きロックミシン)を最も有効に末永くお使いいただくために、この手引きをお役だてください。

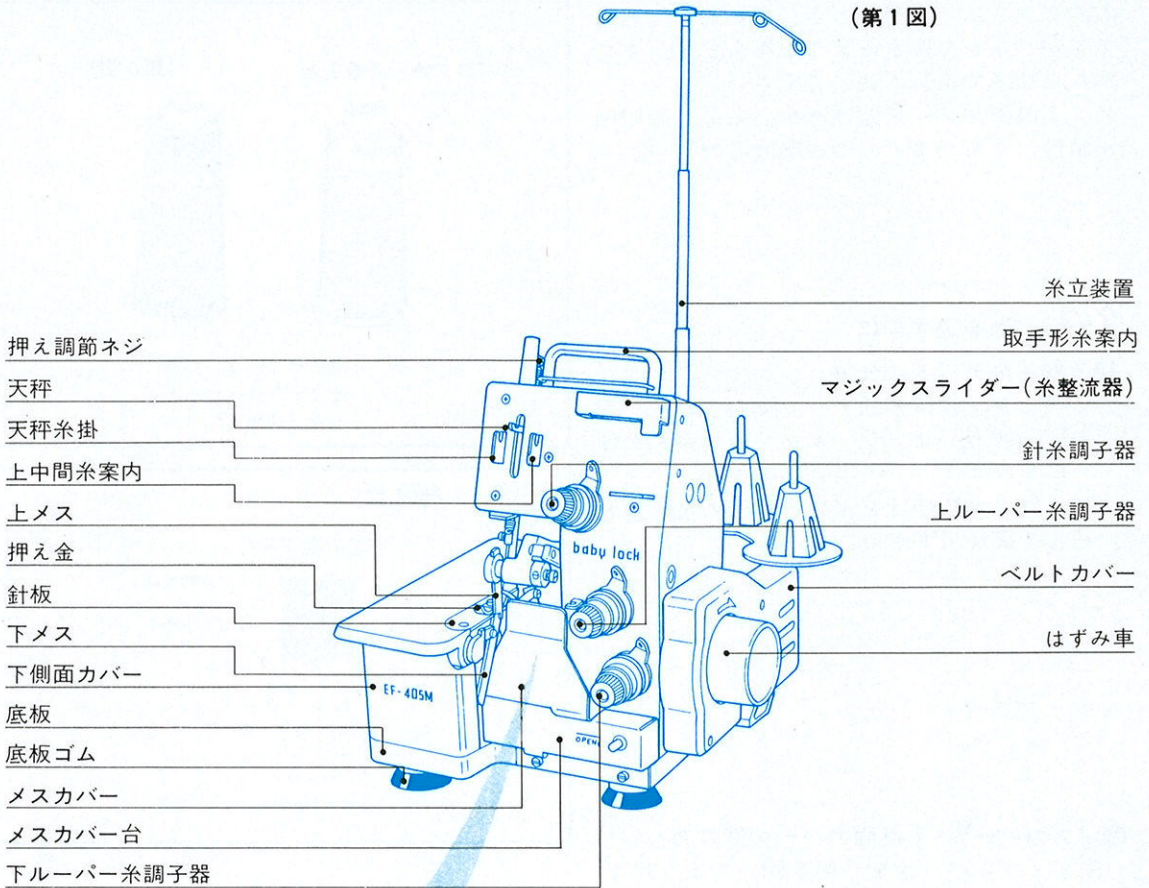
目 次

1. 各部の名称	1
2. 糸の通し方	2
2-1 糸を通す前に	2
2-2 糸通しの順序	3
2-3 縫いについて	4
3. 糸調子のとり方	5
3-1 標準縫いの場合	5
3-2 巻込み縫いの場合	6
4. 押え圧力について	7
5. 針のとりつけ方	7
6. 送り目の調節について	8
7. メスの交換について	9
7-1 下メスの取りかえ方	9
7-2 上メスの取りかえ方	9
8. 注油について	10
9. ミシンライトをつける場合	10
10. 点検と調整について	11
11. カーボンブラシの交換について	12
12. 梱包明細	13
13. EF-405M型仕様表	14
14. 使用糸の組合わせについて(参考)	15
15. 普通縁かがり縫いとして使用する場合	16
15-1 交換の仕方	16
15-2 糸の通し方	16
15-3 縫いについて	16

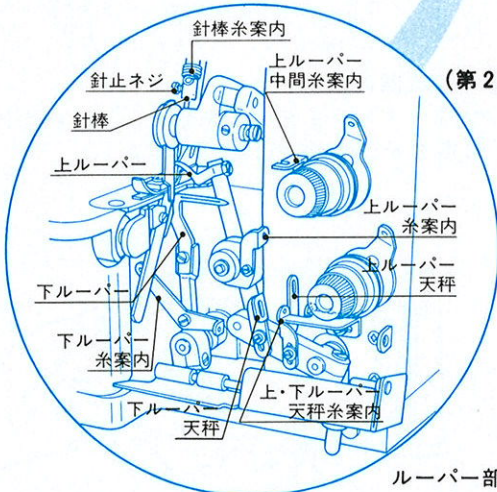
1

各部の名称

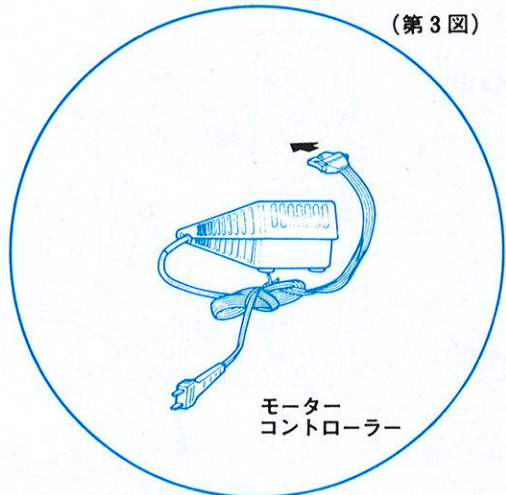
(第1図)



(第2図)



(第3図)



※安全のため使用後は電源プラグを抜いて下さい。
 また、コントローラーの上に物を載せないで下さい。

2 糸の通し方

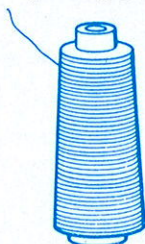
このミシンは、出荷のとき、糸が通してありますが、糸を交換するような場合P 3 . 4 で示した順序で正しく通して下さい。
尚、下側面カバーを開けますと糸通し説明図が貼付してありますのでご参考ください。

2-1 糸を通す前に

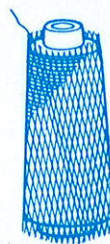
① 糸巻きのセットの仕方

このミシンには普通チーズ巻き(又コーン巻き)の糸を使いますが、ポビン巻き糸もお使いになれます。この場合「第5図」のように付属の木駒受けをポビン巻きの穴に差し込んで御使用下さい。

チーズ巻き糸

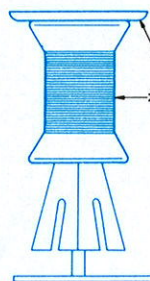


(第4図)



化纤糸などのほつれ易い糸のときはベビーネットをご使用ください。

(第5図)



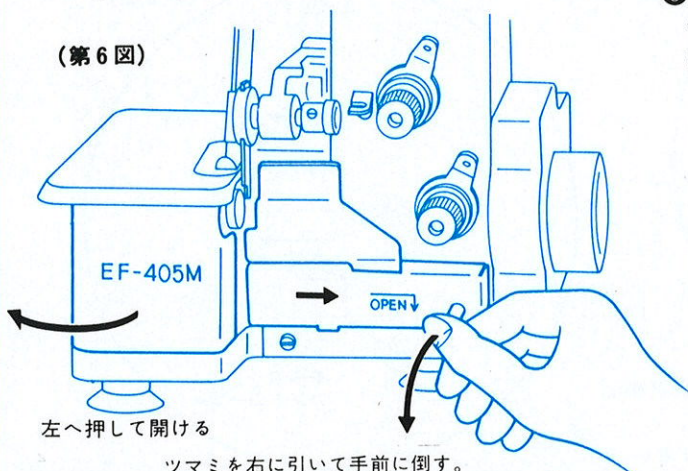
木駒受け

ポビン糸巻き

② メスカバー台・下側面カバーの開け方

先ずメスカバー台を「第6図」のようにツマミを右に引いて手前に倒して下さい。
次に下側面カバーを左へ押して開けて下さい。

(第6図)

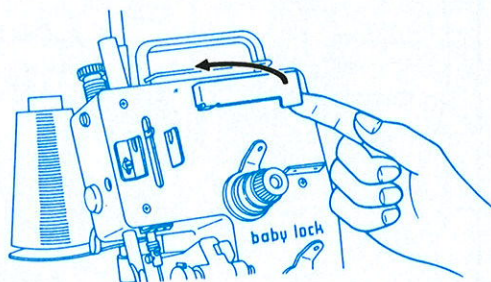


左へ押して開ける

ツマミを右に引いて手前に倒す。

③ 糸整流器の開け方

マジックスライダ(糸整流器)の指掛けに指をそえて手前に起して下さい。



(第7図)

2-2 糸通しの順序

① ルーパー糸の通し方

● はじめに下ルーパー糸を通します。

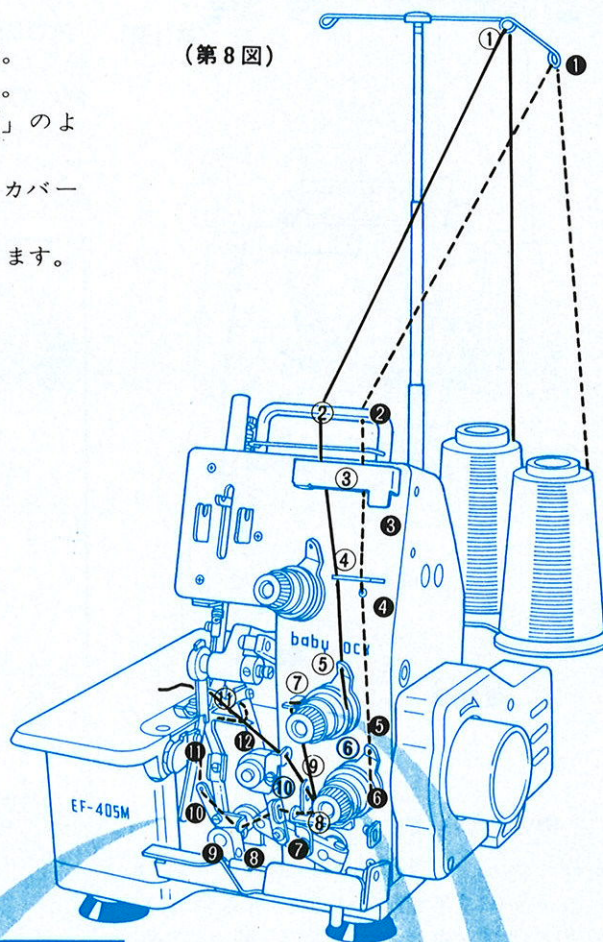
● 次に上ルーパー糸を通して下さい。

糸通しの順序は「第8図」「第9図」のように順次通して下さい。

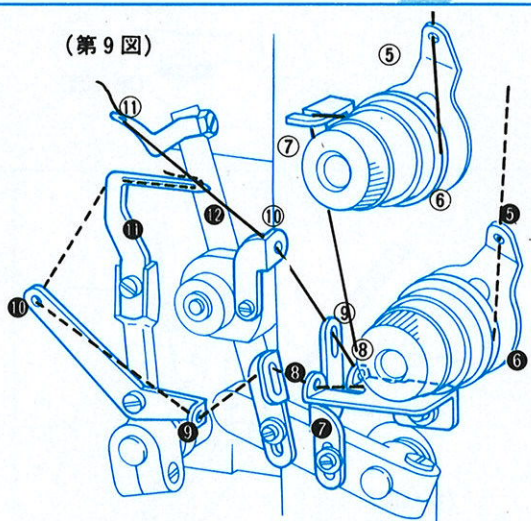
ルーパーの糸通しが終わったら、メスカバー台下側面カバーを閉めて下さい。

ルーパー糸は10cm程ひき出しておきます。

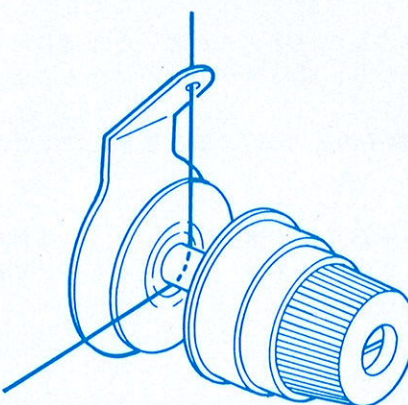
(第8図)



(第9図)

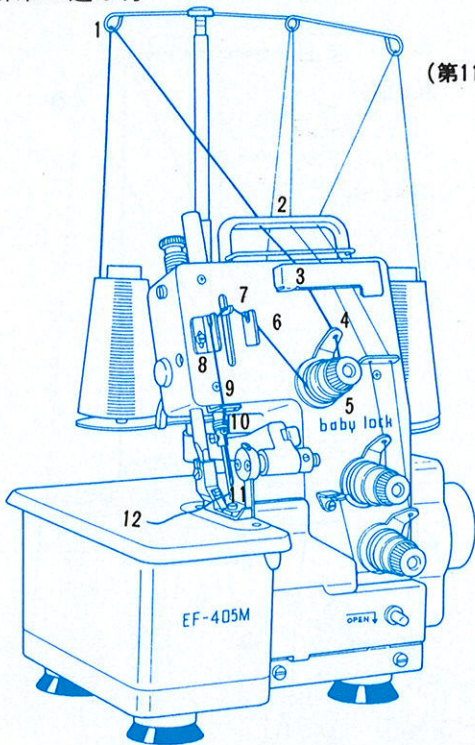


ルーパー部の糸のかけ方



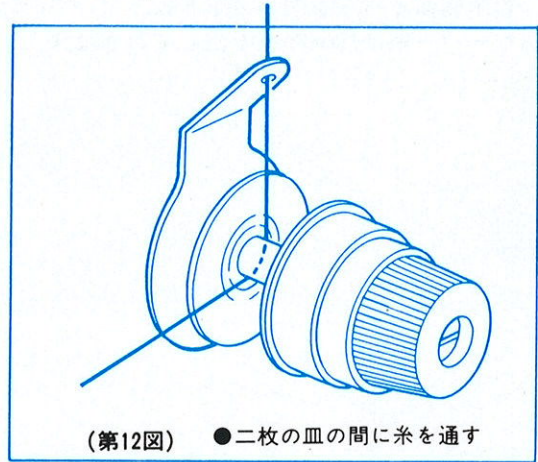
(第10図) 2枚の皿の間に糸を通す

② 針糸の通し方



(第11図)

「第11図」のように順次通してください。
針穴には手前（糸溝）側から向う（えぐり部）側に通して、糸を約10cmひきだしておきます。
ルーパー糸、針糸の糸通しが終わったら最後にマジックスライダ（糸整流器）のフタを締めて下さい。



(第12図) ●二枚の皿の間に糸を通す

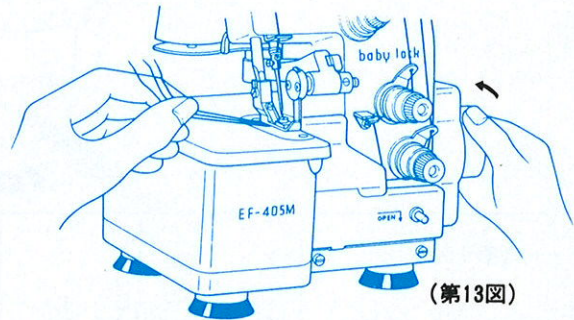
2-3 縫いについて

① 糸かけの終わった3本の糸の先端を「第13図」のように左手指で少し張りぎみにつまみ右手ではずみ車を矢印方向に回して糸のからみぐあいを確認、それから布地をセットして縫いをはじめてください。

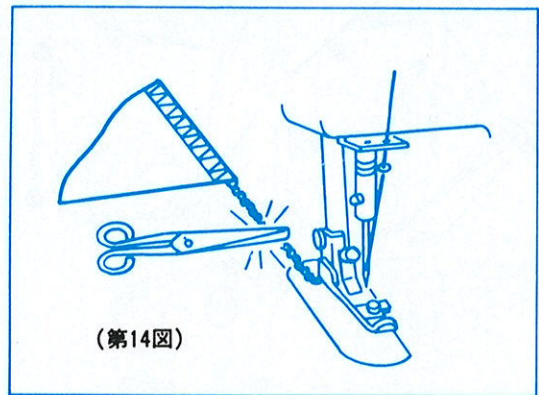
② 3本の糸のバランスが悪いと布地にしわができた、縫い目が不揃いになることがあります。

「糸調子のとり方」の項を参照してください。

③ 縫い終わりは、「第14図」のように布地の端から空縫いを2cm～5cm長くとり、切断してください。



(第13図)



(第14図)

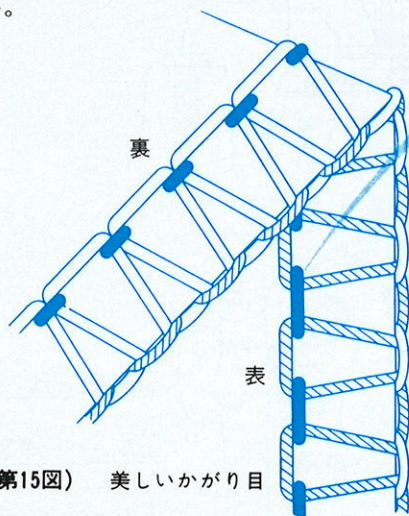
3 糸調子のとり方

この巻きロックミシンは、標準の縫い目(第15図)と巻込んだ状態の縫い目(第20図)の二通りの縫い方が出来ます。
上・下の糸調子器を調節して、希望の縫い目で御使用下さい。

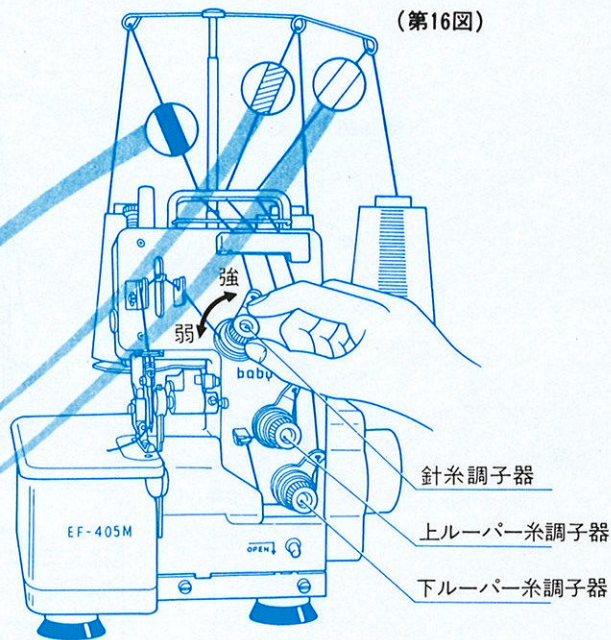
(右方向に回すと、糸調子は強くなり反対に回すと弱くなります)

3-1 標準の縫いの場合

糸調子のとり方は、布地の種類や使用糸の太さ、種類によって違います。そのつど縫い目を見ながら上下の糸調子器で調節してください。

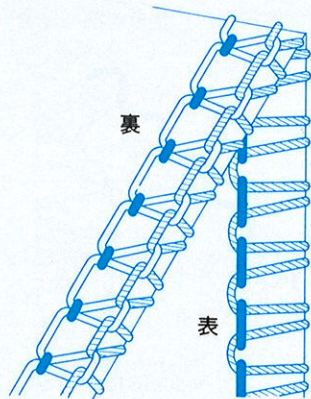


(第15図) 美しいかがり目

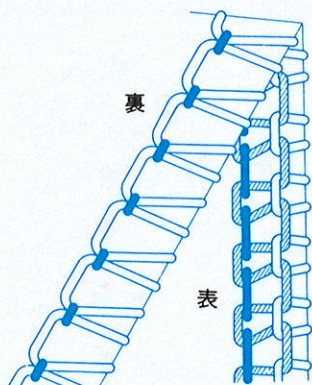


(第16図)

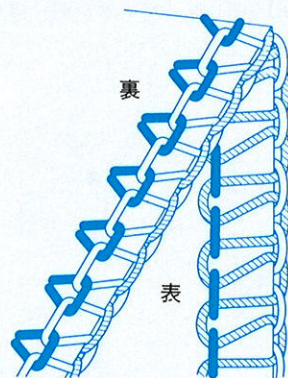
(第17図) 上ルーバー糸が弱い場合 (第18図) 下ルーバー糸が弱い場合 (第19図) 針糸が弱い場合



上ルーバー糸調子器を締めてください。
又は下ルーバー糸調子器をゆるめてください。



下ルーバー糸調子器を締めてください。
又は上ルーバー糸調子器をゆるめてください。

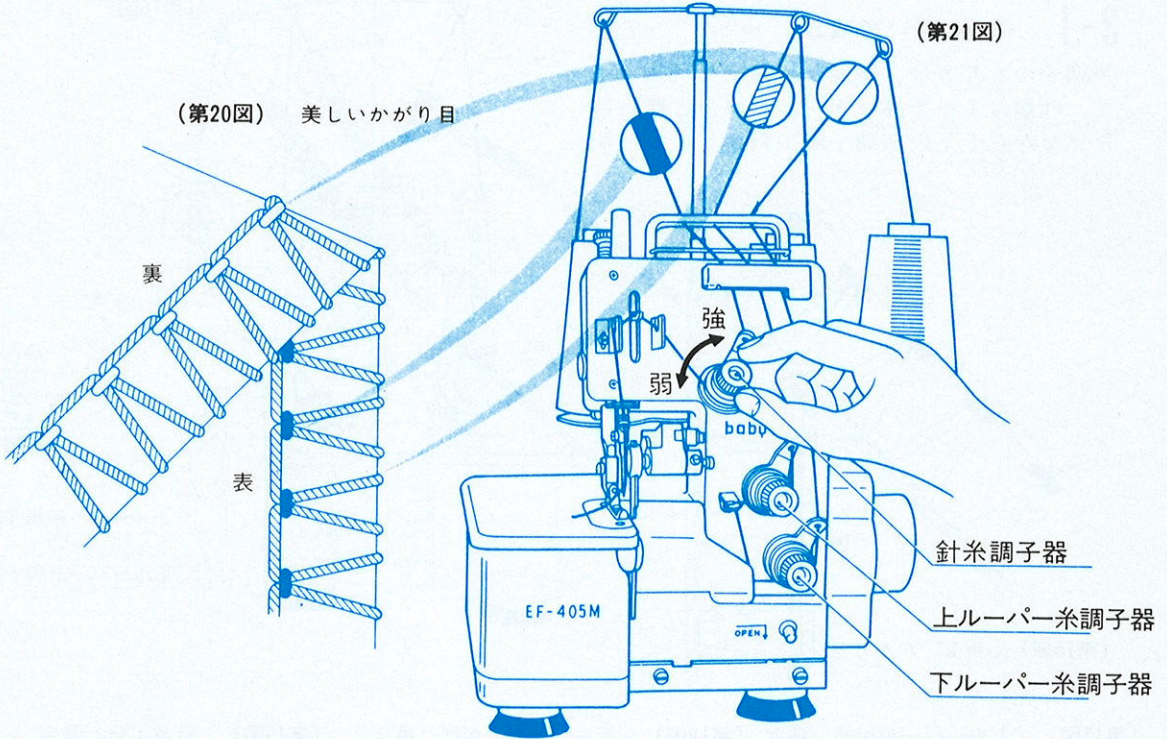


針糸調子器を締めてください。
又は上ルーバー糸調子器と下ルーバー糸調子器をゆるめてください。

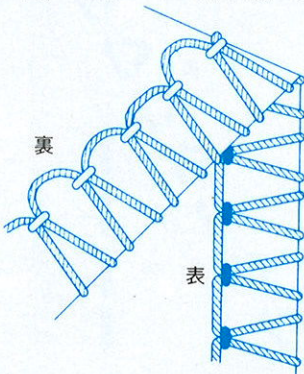
3-2 巻込み縫いの場合

- ①標準の縫い目から巻込みの縫い目に変更する場合、上ルーパー糸をゆるめ、下ルーパー糸を締めますと巻込みの縫い目に近づきます。微量調節は美しい縫い目（第20図）を参考にして、上・下の糸調子器で調節して下さい。
- ②又布地の種類や使用糸の太さ、種類によって糸調子が違います。そのつど縫い目を見ながら上・下の糸調子器で調節して下さい。

（右方向に回すと、糸調子は強くなり反対に回すと弱くなります）

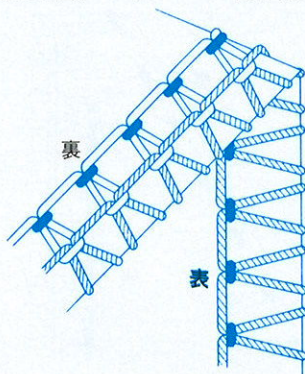


(第22図) 上ルーパー糸が弱い場合



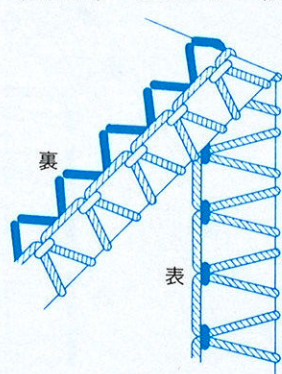
上ルーパー糸調子器を締めてください。

(第23図) 下ルーパー糸が弱い場合



下ルーパー糸調子器を締めてください。
又は上ルーパー糸調子器をゆるめてください。

(第24図) 針糸が弱い場合

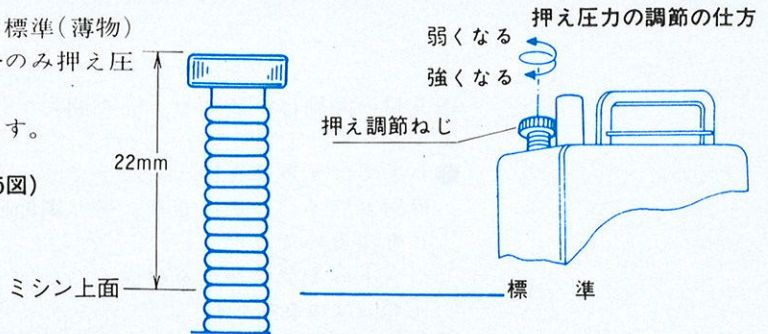


針糸調子器を締めてください。
又は上ルーパー糸調子器と下ルーパー糸調子器をゆるめてください。

4 押え圧力について

このミシンは、すでに押え圧力を標準(薄物)に調節してあります。厚物の場合のみ押え圧力を調節して下さい。
厚い生地には押え圧力を強くします。

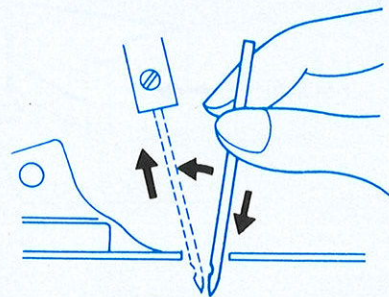
(第25図)



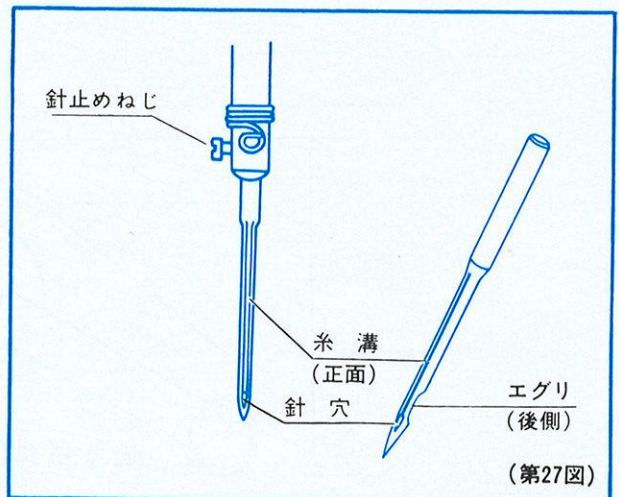
5 針のとりつけ方

このミシンの針はDC×1 #11 (標準)を使います。

- ① 針をとりつけるには、最初にはずみ車を回し、針棒をいちばん上まであげます。
- ② 次に針止めねじをゆるめて、最初に針先を押え金の針穴に差しこみ、それから針棒の針穴に奥まで差しこんでください。
- ③ 針のとりつけ向きは、「第27図」のように正面から見て糸溝が手前になるように合わせてください。
- ④ 針の向きが狂わないように、針を手でしっかり押えて、針止めネジを固く締めつけてください。



(第26図)



(第27図)

6 送り目の調節について

送り目の調節は下側面カバーを開いて行ないます。

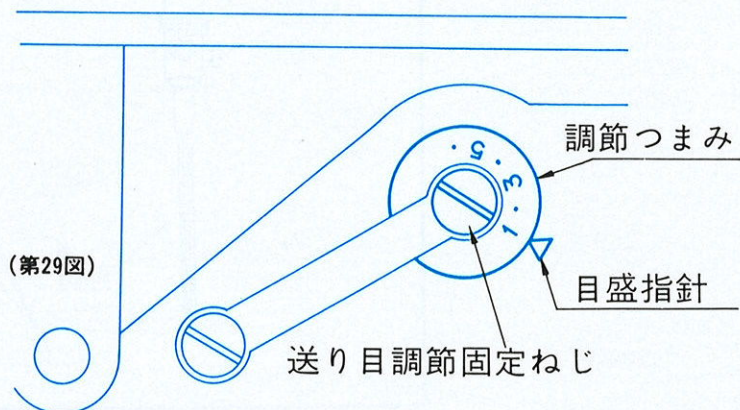
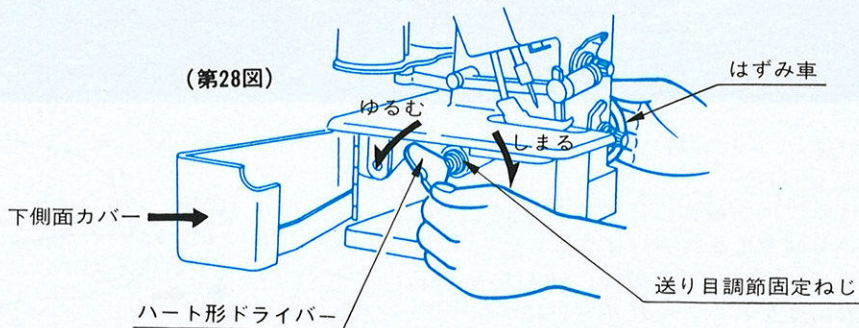
①右手ではずみ車を押え、左手でハート形の専用ドライバーをにぎり、送り調節固定ねじをゆるめてください。

ハート形ドライバーを矢印方向に回すと固定ねじはゆるみます。

②次に、調節つまみの目盛りを指針に合わせてください。

つまみ目盛りの数字が大きくなるほど、縫い目は大きくなります。

③調節が終わったら、送り目調節固定ねじは固く締めつけてください。



7 メスの交換について

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。

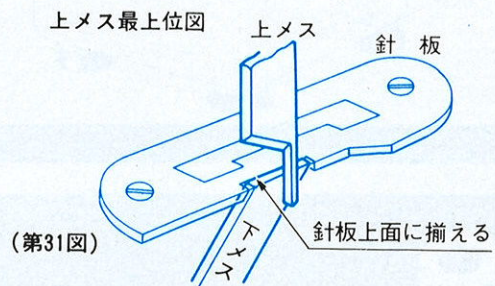
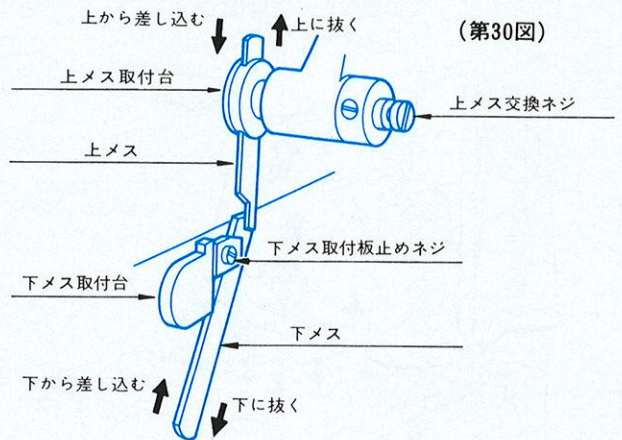
メスは消耗品ですので切れなくなったら交換してください。

メスが切れなくなった場合通常下メスを交換して下さい。

7-1 下メスの取りかえ方

上メスがいちばん上った位置で行って下さい。

- ① 下メス取付板止めねじをゆるめて下メスを下に抜いて下さい。
- ② 新しい下メスを下メス取付台のメス溝に合わせて下から上に差し込んで下さい。
- ③ 下メスの刃先が針板上面と同じ高さになるようにして下メス取付板止めねじを締めつけて下さい。(第30図)

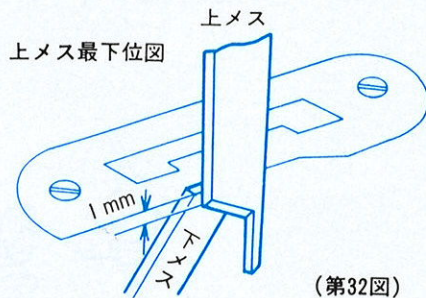


7-2 上メスの取りかえ方

(※上メスは長寿命の特殊な材質が使われておりますので通常交換の必要はありません)

上メスがいちばん下った位置で行って下さい。

- ① 上メス交換ネジをゆるめて、上メスを上に抜いて下さい。
- ② 新しい上メスを上メス取付台に差し込んで下さい。
- ③ 上メスの手前刃先が下メス刃先上面に対して1mmほど沈むように位置決めして上メス交換ネジを締めつけて下さい。(第32図)



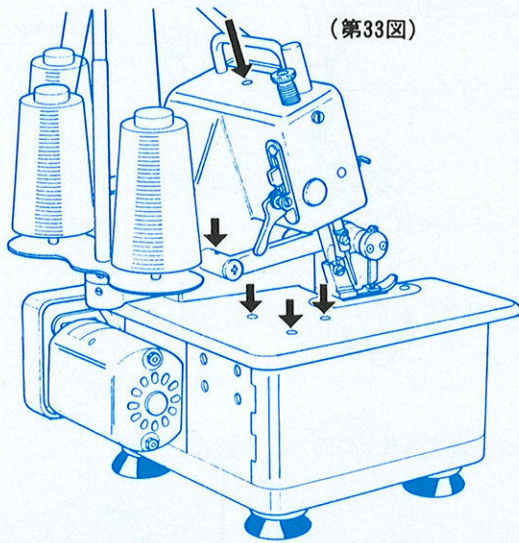
※メスの購入先
ミシン店又は



このマークのお店で
お求めください。

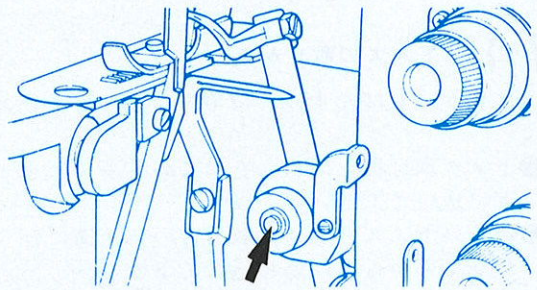
8 注油について

この箇所のみ使用後20から30滴注油して下さい。



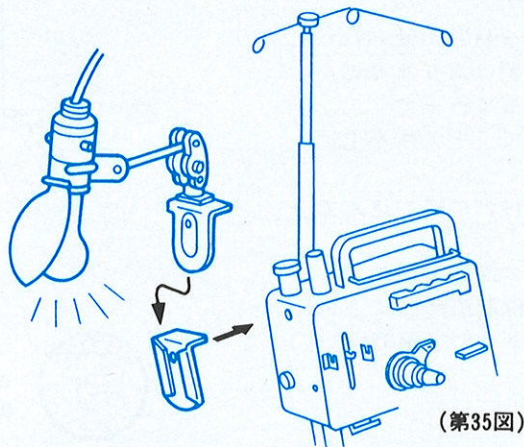
このミシンの大切な箇所には、すべて特殊な材料（焼結含油合金）を用いておりますが、ミシンをより長持ちさせる為、赤印のついている箇所にはご使用前に定期的に注油して下さい。1回の注油量は1～2滴程度にして下さい。

(第34図)



9 ミシンライトをつける場合

ライトをお使いになる場合は、市販されているミシンライトを「第35図」のようにとりつけてください。



10 点検と調整について

このベビーロックは、むずかしい専門的な調整をしないですむように設計されています。つぎのような5つの例は、基本的な調整ができていないときに起りやすい故障ですから、よく覚えておいてください。

- A) ミシンが動かないとき
- 電源プラグは差し込んでありますか。
 - コントローラーのソケットは差し込んでありますか。
- B) 糸が切れるとき
- 糸かけは正しいですか。
 - 糸調子が強すぎませんか。
 - 針は曲っていませんか。
 - 押えの強さは適当ですか。
 - 糸の種類はどうですか。
 - 針の取り付け方が、まちがっていませんか。
- C) 針が折れるとき
- 針が、針板や押えにぶつかっていませんか。
 - 針の取り付け方が、まちがっていませんか。
- D) 目とびするとき
- 針が曲っていたり、針先がすり減ったりしていませんか。
 - 針を正しく取り付けましたか。
 - 糸のかけ方が、まちがっていませんか。
 - 押えが弱いではありませんか。
- E) 縫い目の調子が悪いとき
- 針糸、上ルーパー糸、下ルーパー糸の張力調整は、じゅうぶんですか。
 - 糸のかけ方は正しいですか。

11

カーボンブラシの交換について

このミシンに使用しておりますモーターにはカーボンブラシが2個（2カ所）取付けてあります。長時間お使い頂くと、摩耗しますので、図のようにカーボンブラシを交換してください。

A) 交換の時期

摩耗によりカーボンブラシ図のようにブラシ部分が3mm程度になりましたら交換してください。

※目やすとして、モーターのうしろの通気孔より見て、カーボンブラシの火花が、1cm程度出るようになったらカーボンブラシを交換してください。

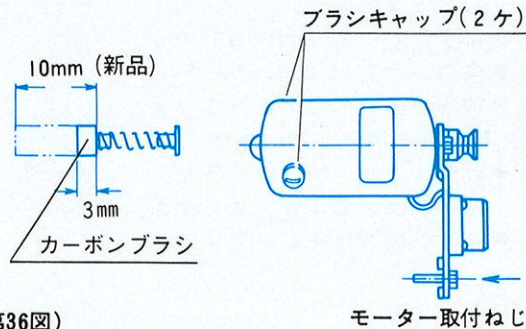
B) 交換の方法

最初にモーターを取り外します。次に〈モーター図〉のブラシキャップを各々取外し新しいブラシと交換してください。

〔注意〕

摩耗したブラシを、そのまま使っていますと、モーターから火花が出たり、又モーター故障の原因になりますから、ご注意ください。

カーボンブラシ図



※カーボンブラシの購入先
ミシン店又は、電気器具店でお求めください

12 梱包明細

1. ミシン(モーター付)
2. コントローラーセット一式
3. 頭部ビニールカバー
4. ご使用のてびき
5. 検査合格証
6. 保証書
7. アクセサリー・ボックス
ドライバー (マイナス用)
スパナ (モーターブラケット用)
スパナ (上ルーパー用)
針 DC×1 #11
下メス
ピンセット
掃除用ブラシ
油差し
ハート型ドライバー (送り目用)
ベビーネット
木駒受け
普通縁かがり用針板
普通縁かがり用押え金
フェルト(マジックスライダー用)
ラクラク糸通し

※都合により使用書の内容を一部変更する場合があります。

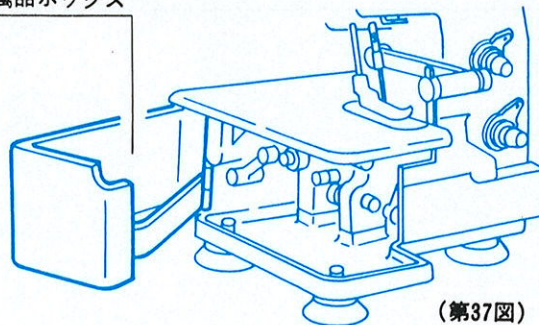
注意 巻きロック用の針板、押え金と普通縁かがり用の針板、押え金の区別。

巻きロック用の針板と押え金にはⓂの刻印がついています。

普通縁かがり用の針板と押え金にはⓈの刻印がついています。

第37図の下側面カバーのボックスにはお仕事の際に必要な付属品を入れてご使用ください。

付属品ボックス



13 EF-405M型仕様表

基本項目	仕様
かがり巾	巻きロック縫い1.5 m/m 普通縁かがり縫い3.5 m/m
縫い目(送り目)	1 ~ 5 m/m (巻き縫いの場合標準1 m/m)
針棒ストローク	25 m/m
メス上下量	6 m/m
押え上り量	4.5 m/m
送り歯高さ	0.7 m/m
使用針	DC×1 #11 (標準)
使用糸本数	3本
給油方式	油芯滴下式手差方式
ミシンの大きさ	タテ 250 m/m ヨコ 250 m/m 高サ 280 m/m
ミシンの重さ	8 kg(モーター付完成品)

14 使用糸の組合わせについて(参考)

このミシンは種々糸の組合わせでお使いいただけます。下記代表例を参考にして下さい。

① 巻きロック縫い(かがり巾1.5%)の場合

● 標準縫い

針 糸	テトロン糸 #120~60	綿又スパン糸 #100~60	テトロン糸 #120~60	絹糸 #100
上ルーバー糸	ウーリー ナイロン糸	同 上	絹糸 #50	同 上
下ルーバー糸	テトロン糸 #120~60 ウーリーナイロン糸	同 上	絹糸#50 テトロン糸 #120~60	同 上

● 巻き込み縫い

針 糸	テトロン糸 #120~60	綿又スパン糸 #100~60	テトロン糸 #120~60	絹糸 #100
上ルーバー糸	ウーリー ナイロン糸	同 上	絹糸 #50	同 上
下ルーバー糸	テトロン糸 #120~60	同 上	テトロン糸 #120~60	同 上

② 普通縁かがり縫い(かがり巾3.5%)の場合

普通縁かがり縫いの場合の使用糸は

綿糸、テトロン糸、ナイロン糸、ウーリーナイロン糸等ご使用になれます。

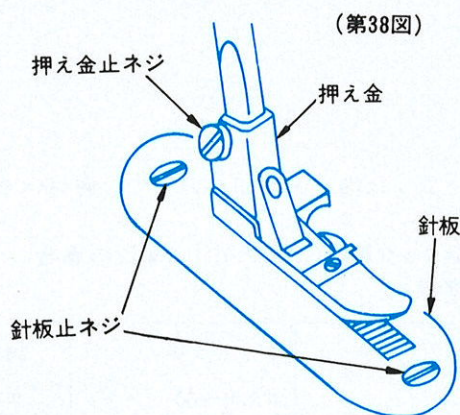
15 普通縁かがり縫いとして使用する場合

- 巻きロック用の針板と押え金を普通縁かがりアタッチメントと交換すると、3.5mm巾の普通の縁かがりミシンとして御使用いただけます。
- 交換は次の順序で行って下さい。

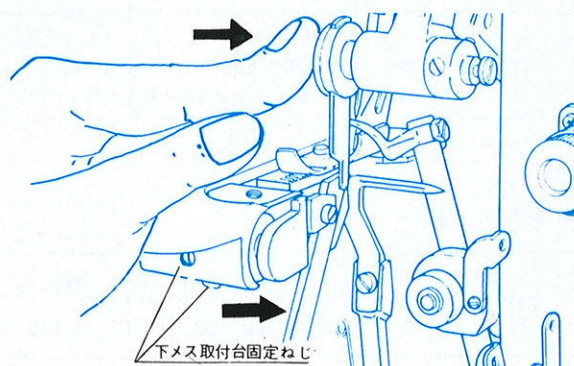
15-1 交換の仕方

※針棒がいちばん上に上った位置で行って下さい。

- ① 押え金を上げます。
- ② 押え金止ネジをゆるめて押え金はずします。
- ③ 針板止ネジをゆるめて針板はずします。
- ④ メスカバー台、下側面カバーを開きます。
- ⑤ 下メス取付台固定ネジ2本をゆるめ、下メス取付台を上メスと共に右にいっぱい寄せて止めます。
- ⑥ 普通縁かがり用針板を針板止ネジで取付けます。
- ⑦ 下メス取付台固定ネジをふたたびゆるめ、下メス取付台を左に寄せ、針板に密着させて、固定します。
その場合、必ず下メス上端と針板上面が同一になる様に固定して下さい。
- ⑧ 普通縁かがり用押え金を取付けます。



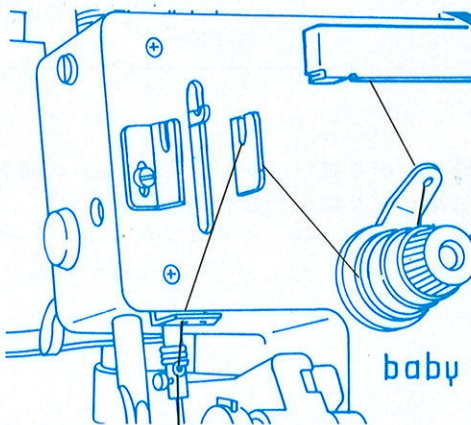
(第39図)



15-2 糸の通し方

天秤糸掛けと天秤の糸を外して、(第40図)のように糸を掛けて下さい。

(第40図)



15-3 縫いについて

- ① 送り目の調節
送り量は希望の量に合わせて御使用下さい。
“6,送り目の調節について”の項を参照してください。(標準 3mm)
- ② 糸調子の取り方
普通縁かがりの場合、“3,糸調子のとり方”の項で“3-1,標準縫いの場合”を参照してください。

MEMO

ベビーロック

保証書

機種 EF-405M型

お買上げ年月日 年 月 日

保証期間 1 年間

●保証規定

- ①「正常な使用状態において生じた故障」については、お買上げの日より1ヶ年無料修理致します。
- ②修理はお買上げの販売店(ベビーロックショップ)で致します。
- ③次の場合は保証期間でも実費を頂きます。
 1. 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障。
 2. お買上げ後の輸送、移動、落下などによる故障、損傷。
 3. 天災等不可抗力による破損あるいは故障。
 4. 保証書の提示の無い場合、または販売店名の記入の無い場合。

販売店

住所

TEL

この製品は厳密なる品質管理及び検査を経て、お届けしたものです。

株式会社 **ジューキ**

本社 東京都中央区八重洲2-7-2(八重洲三井ビル) TEL (03)272-2851(代表)

本保証書は再発行いたしませんので大切に保管下さい

修理日	内	容	修理者名	

※ご不明な点がありましたら、お買い求めの販売店へお申し出下さい。